

平成 31 年 4 月 26 日  
林 野 庁  
近畿中国森林管理局  
兵庫森林管理署

## 平成 31 年度 重点取組事項の公表について

近畿中国森林管理局では、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、その有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者とも連携を図りつつ、木材の安定供給、路網の整備、林業の低コスト化等に向けた各般の取組を積極的に進めています。

このうち、兵庫県内の国有林については、兵庫森林管理署が所管しており、林産物の供給や林業の低コスト化に向けた取組、平成 30 年 7 月豪雨による被害箇所の復旧などに取り組んでいます。

このたび、近畿中国森林管理局の平成 31 年度の重点取組事項に関する資料がとりまとめられましたので、下記のとおり公表します。

### 記

#### 公表資料

1. 平成 31 年度 近畿中国森林管理局重点取組事項
2. 平成 31 年度 兵庫森林管理署の重点取組事項



#### 【問い合わせ先】

林野庁近畿中国森林管理局  
兵庫森林管理署  
担当者：署長 石上  
電 話：050-3160-6170  
F A X：0790-62-4790

## 平成31年度 兵庫森林管理署の重点取組事項

兵庫森林管理署は、兵庫県内の国有林野24千ha及び官行造林地約5千haの合わせて約29千haを管理経営しています。森林の多面的機能発揮のため森林整備を実施し、発生した木材を供給し林業の成長産業化に貢献するとともに、平成30年7月豪雨で被災した国有林の復旧を進め、地域から信頼される国有林をめざし取り組みます。

### 1 公益重視の管理経営の一層の推進

#### (1) 森林整備の推進

地域管理経営計画等に基づき、約235haの間伐を行います（宍粟市、姫路市、香美町、洲本市ほか）。また、資源の循環利用等を図るため、約13haの新植を行います。



間伐した人工林（深山国有林）

#### (2) シカ被害対策

- ① 新植地における被害対策として、立木の利用、地形に沿ったネット張り、ブロック方式などの各種のシカ防護柵設置の取組を進めます。
- ② 新植地等において、引き続きシカの捕獲を行います。捕獲に当たり、首括り罠等による試験的な捕獲を行い、より効果的な取組となるよう検討します。



シカの捕獲（マンガ谷国有林）

#### (3) 治山対策の推進

地域の安全・安心を確保するため、関係機関と連携を図りつつ、平成30年7月豪雨による被害箇所を中心に被災山地の復旧治山対策整備を推進します（宍粟市、姫路市、加古川市、神戸市）。



桑ヶ仙国有林の復旧状況

### 2 林業の成長産業化へ向けた貢献

#### (1) 林産物の供給

間伐等の森林整備を行い、その結果発生した間伐材等（丸太）の持続的かつ計画的な供給に努め、地域における林業の成長産業化に向けて貢献していきます（宍粟市、姫路市、香美町、洲本市ほか）。素材生産量は1.3万m<sup>3</sup>を予定しているほか、分収林の立木



集材作業（阪水国有林）

販売も実施します。

## (2) 一貫作業等の実施

- ① 林業の低コスト化に向けて、引き続き植栽本数を2,000本/ha程度に抑制しつつ、素材生産と造林の一貫作業(注1)を行います(宍粟市)。
- ② 新植地の一部で昨年度に当年生コンテナ苗を植栽したのに続き、エリートツリー(注2)の植栽を試行し、植栽コストの低減について検討します(宍粟市)。
- ③ 新植地において可能な範囲で下刈の省略や下刈方法を筋刈とすることによる省力化を図り、保育作業の低コスト化に向けて取り組みます(宍粟市)。



当年生コンテナ苗植栽箇所  
(赤西国有林)

## (3) センダンの植栽試験

成長に優れた早生樹であるセンダンの植栽試験を引き続き行うとともに、需用者等との意見交換を実施します(宍粟市)。

センダン  
4年生(深山国有林)



## (4) 民国連携の推進

効率的な路網整備や路網の共用による低コスト化、さらには地域における木材安定供給に向けて、森林整備センター、兵庫県みどり公社、宍粟市などとの民国連携を推進します。



コンテナ苗の普及に  
向けた意見交換会

## 3 国民の森林としての管理経営

引き続き、NPOや企業等との協定締結による自主的な森林整備や、「法人の森林」契約(注3)に基づき企業による森林整備のフィールドを提供します。



日本触媒の森林整備活動  
(深山国有林)

注1 持続的な林業経営及び再造林コストの低コスト化等を図ることを目的として、立木の伐採、搬出とその後の地拵、植栽を一連の作業として実行する作業システム。

注2 地域の人工造林地において、最も成長が優れた木として選抜された「精英樹」のうち、優良なもの同士を人工交配によりかけ合わせ、その中からさらに優れた個体を選んだもの。

注3 公益活動や社員教育の場としての森林づくり等法人の皆様が、国土の保全や生活環境を守ること、森林資源の造成を図ることを目的として作られる森林。分収林契約による。